

平成29年度 3学期始業式挨拶

平成30年1月9日（火）

皆さん、おはようございます。
そして新年明けましておめでとうございます。
大きな事故もなく、皆さんと再びこの場でお会いできることをとても喜んで
います。

今日から3学期が始まります。今日は、新たな年を迎えて、去年のことを
振り返りながら、さらに飛躍・成長できるよう、私から皆さんに期待を込め
てお願いをしたいと思います。

去年の1学期の始業式には、「目標」・「準備」・「継続」の3つのキー
ワードを取り上げ、自分の希望をかなえるためには、「目標をたてること」、
「しっかり準備をすること」、「最後まで諦めず継続すること」ということ
が大切であるということをお話しました。

世の中を見まわしてみると、実績を挙げている人や企業は例外なく、「目
標」・「準備」・「継続」の3点を常に意識して行動している、そのことは
高校生も同じであるという内容です。

あらためて、皆さんに聞きますが、新年を迎え、この1年、どんな目標を
定めていますか？ 目標がなければ、時間だけが過ぎ去っていくということ
も話しました。まずは、今年目標を定めることからスタートしましょう。

次に、7月の終業式では、人間が仕事や生活をする営みの中で、最も大切
なものは、なんだかんだ言っても、最終的に「人」というところにたどり着
く、という話をしました。

それは、「信頼」という言葉に置き換えてもいいと思います。

人に対しては、礼儀や丁寧さを失わず、対応すること。学業に対しては、
ひたむきに、目の前のことに全力を傾けて取り組むこと。

そうすることによって、人との良好な信頼関係を築くことができるし、自
分の周りにも、自分に協力してくれる人が集まってくる、という内容でした。

これから皆さんが旅立とうとしている社会は、どんどん規模が大きくなり、
活動が複雑になる一方で、人間関係が希薄になっていく傾向があります。

しかし、社会がどう変わろうとも最後に頼りになるのは、「人」とあると
いうこと、これはこれからも変わらないと思います。

皆さんにとっては、今はそのことが理解できないかもしれませんが、いずれこのことにおつかる時が必ず来ると思っています。

その時に、そういえば高校時代に、最後は「人」が大事という話を聞いたことがあるな、大事なことは、「礼儀、ひたむきさを失わず、丁寧に対応すること」だったなと思い出してください。

2学期の始業式では、市民ランナーで日本代表の川内優輝さんを例に出し、「最後まであきらめないこと」の大切さについて話をしました。

先月、12月3日の福岡国際マラソンでは、全体の9位、日本人では4位と結果はあまり振るいませんでしたが、川内さんは、次の目標に向かって始動しています。

今後は日本記録更新に向かって、たくさんのレースに参加されることでしょう。これからの活躍を期待したいと思います。

12月の終業式では、「自分で考える」ことの大切さを話しました。

人生はある意味で、失敗の連続です。大切なのは、失敗をそのままにすることなく、その原因を考え、次にはそうならないように改善策を考える。

皆さんには、失敗を恐れず、たとえ失敗してもそこであきらめず、次の道を探り出す力、「考える力」を伸ばしてほしいという内容でした。

さて、この3学期についてですが、3学期は3つの学期の中で、学校に来る日数が最も少ない期間ですが、入学試験や卒業式など大きな学校行事があります。

期間は短いですが、3学期は3学期なりに大切な時期となります。

ここからは、学年別で話をします。

(1年生)

1年生は、昨年までの義務教育とは異なり、3月に進級ということを初めて経験するわけで、つまり成績が悪ければ2年生への進級ができなくなるということを十分理解して日々取り組むことが大切です。

1、2学期でそれなりの結果を出している生徒については、そのままのペースを継続してください。

問題となるのは、3学期になって急に生活が乱れ、成績が振るわなくなる生徒が少なくない、ということです。

3学期は、次の2年生につなげるためにも、決して気を抜いてはいけない期間です。特に、生活のリズムが崩れ、遅刻、欠席をすることに平気というか、罪悪感がなくなってくるようでは、要注意です。

きちんとした生活のリズムを守り、高校生としてふさわしい言動を心がけてください。

(2年生)

2年生はこの時期、3年生に向けての最後の準備期間となります。

2学期の終業式で、成績について申し上げましたが、3学期は、定期考査が期末考査のみの1回だけということで、その意味でも危機感を持って取り組んでいただきたいと思います。

よく、2学年は3年間で一番気の緩む「中だるみの年」といわれますが、遅刻、欠席はもちろんのこと、基本的な生活習慣を守り、しっかりと学業に専念してください。

それとともに、担任や学年の先生と十分に話し合い、自分に何が向いているのか、何をやりたいのか、を知ること大切です。

3年生になった時点で、自分の気持ちの中に、ある程度の進路の方向性が決まっていれば、4月からの順調なスタートを切れると思います。

3年生になってから慌てることがないよう、いまから先のことをよく考えてしっかりと取り組んでほしいと期待しています。

(3年生)

さて、最後は3年生です。

3年生は卒業まであとわずかとなりました。

あらためて申し上げたいことですが、卒業までの学校生活で皆さんに求められることは、担任やほかの先生に注意をされることなく、最高学年として、最後の責任を果たすとともに、高校生活の集大成としての「有終の美」をかざってほしいということです。

私が今年の3年生に対して最も注目し、期待をしていることは、3年生がどのくらい真っ当な3学期を送ってもらえるか、ということです。

ややもすると、進路が決まったことから気持ちが緩み、遅刻、欠席が一気に増え、これまで自分自身でせっかく築き上げてきた実績と信頼に「泥を塗る」ことにもなりかねない。実にもったいないことです。

私たち（進修館高校）は、皆さんに対して、そういういい加減なことは教えていません。

3年生として、最後にどういう形で進修館高校の伝統と文化を後輩に残し、伝えていくのか、その答えは、この3学期の3年生の動向にかかっています。

そういう先輩の姿は、良いも悪いも必ず後輩たちが見ています。

もうひとつお伝えしたいことは、3年生の担任の中には、教員になって初めて卒業生を送り出すという先生が何人かいます。

皆さんが、その最初の卒業生になります。

私も最初の卒業生は、いまでも鮮明に記憶に残っています。

3年間の在学中にはいろいろありましたが、最後は私の気持ちを理解して、最後までしっかりと対応してくれた。そのことを今でも感謝していますし、いい生徒に恵まれたという思い出が今もずうーと続いています。

先生方を代表して3年生にお願いをしたい。

「終わり良ければすべてよし」という言葉がありますが、この3学期を3年生としてしっかり送り、今年の3年生は素晴らしかった、とてもいい生徒たちだったと3学年の先生方全員がそう思えるような、記憶に残る卒業式を迎えてほしい。

以上が、私からの始業式の挨拶とします。

寒い日が続きますが、風邪などひかぬよう体調管理に努めて、充実した3学期を送られることを願っています。

(2,964字)